

提言に対する改善報告書

大学名称 兵庫医科大学 (評価申請年度 2010 年)

1. 助言について

No.	種 別	内 容
1	基準項目	4. 教育内容・方法・成果
	指摘事項	医学部において、授業評価結果を学生に開示していないので、改善が望まれる。
	評価当時の状況	前年度の「学生による授業評価」において、学年ごとに最も評価の高い教員のみをベストティーチャー賞受賞者として公表していた。
	評価後の改善状況	自己点検・評価委員会での協議結果により、平成 24 年度よりベストティーチャー賞受賞者だけでなく、前年度の「学生による授業評価」における上位 5 名の高評価の教員を公表した。
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等 ・ 自己点検・評価委員会報告抜粋（平成 24 年 5 月 21 日開催）：資料 1 ・ 自己点検・評価委員会報告抜粋（平成 24 年 6 月 18 日開催）：資料 2 ・ 自己点検・評価委員会報告抜粋（平成 25 年 6 月 17 日開催）：資料 3 ・ 兵庫医科大学 HP 掲載の抜粋（「学生が選ぶベストティーチャー賞」）：資料 4	
	<大学基準協会使用欄>	
	検討所見	
	改善状況に対する評価	1 2 3 4 5

提言に対する改善報告書

大学名称 兵庫医科大学 (評価申請年度 2010 年)

1. 助言について

No.	種 別	内 容
2	基準項目	4. 教育内容・方法・成果
	指摘事項	医学部では、留年者が多く、特に 6 年次では在籍学生数に対する留年者数の割合が高いため、改善に向けた取り組みが望まれる。
	評価当時の状況	平成 21 年度進級・卒業判定結果における留年率については、1～6 年次全体で 8.90%、6 年次のみでは 14.41%であった。
	評価後の改善状況	医学教育センター教員による中間成績に基づく成績不良者の早期発見・面談指導や、平成 24 年度より学生ピアサポート制度の導入等、成績不良者対策の強化を行った。 以降、留年率は減少傾向にあり、平成 25 年度進級・卒業判定結果においては、1～6 年次全体で 6.78%、6 年次のみでは 4.72%であった。
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等 ・兵庫医科大学 留年状況一覧：資料 5 ・兵庫医科大学 HP 掲載の抜粋（「医学教育センター」）：資料 6 ・兵庫医科大学大学案内の抜粋（「医学教育センター」）：資料 7 ・教務委員会資料（「学生ピアサポート制度の新設について」平成 24 年 7 月 26 日開催）：資料 8	
＜大学基準協会使用欄＞		
検討所見		
改善状況に対する評定		12345

提言に対する改善報告書

大学名称 兵庫医科大学 (評価申請年度 2010 年)

1. 助言について

No.	種 別	内 容
3	基準項目	4. 教育内容・方法・成果
	指摘事項	医学部・医学研究科では国際交流の活動実績が十分とはいえないので、国際交流の活性化に向けて組織的に取り組まれるよう、一層の努力が求められる。
	評価当時の状況	平成 21 年度までは、中国汕頭大学医学院、天津医科大学やクロアチア共和国リエカ大学、ドイツ連邦共和国ザールランド大学との学術交流に関する協定書の締結をしていたが、交流実績は乏しかった。
	評価後の改善状況	平成 22 年度より、国際交流センターを立ち上げコーディネーターを配置した。以降、以下の通り交流を拡大し、学生留学実績も向上傾向にある。天津医科大学とは、教員レベルでの国際学術交流シンポジウムを相互に隔年開催している。また、平成 25 年度より広報誌を作成し、広報活動にも注力している。 【平成 24 年度】 ・学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院開設 ・米国カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部との学術協力に関する基本合意書締結 【平成 25 年度】 ・ブルガリア共和国ソフィア医科大学との学術交流に関する協定書締結 【平成 26 年度】 ・ワシントン大学医学部との学術提携に関する協定書締結
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等 ・平成 21～25 年度兵庫医科大学国際交流実績報告：資料 9 ・兵庫医科大学国際交流センターニュース (vol. 1、2)：資料 10 ・兵庫医科大学 HP 掲載の抜粋 (「国際交流センター」)：資料 11 ・兵庫医科大学大学案内の抜粋 (「国際交流センター」)：資料 12	
	<大学基準協会使用欄>	
	検討所見	
	改善状況に対する評価	1 2 3 4 5

提言に対する改善報告書

大学名称 兵庫医科大学 (評価申請年度 2010 年)

1. 助言について

No.	種 別	内 容
4	基準項目	4. 教育内容・方法・成果
	指摘事項	医学研究科において、学位授与方針ならびに学位論文審査基準が学生に明示されていないので改善が望まれる。
	評価当時の状況	大学院シラバスに掲載されていなかった。
	評価後の改善状況	大学院シラバス2014に「3大ポリシー」として掲載している。
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等 兵庫医科大学大学院医学研究科の3大ポリシー：資料13 大学院制度教育委員会議事要旨(抜粋)：資料14 大学院シラバス2014(抜粋)、兵庫医科大学のホームページ http://www.hyo-med.ac.jp/faculty/graduate_college/introduction.html	
	<大学基準協会使用欄>	
	検討所見	
	改善状況に対する評定	1 2 3 4 5

提言に対する改善報告書

大学名称 兵庫医科大学 (評価申請年度 2010 年)

1. 助言について

No.	種 別	内 容
5	基準項目	4. 教育内容・方法・成果
	指摘事項	(1) 医学研究科の「学位論文審査委員会」において、研究指導者が主査を務めているので、論文審査の客観性・公平性から、検討が望まれる。 (2) 医学研究科において、課程の修了に必要な単位を取得して退学した後、退学後1年以内に再入学などの手続きを経ず学位論文を提出して、博士の学位を取得した者について、退学の日に遡って「課程博士」として取り扱っていることは適切ではないので、課程制大学院の趣旨に留意して円滑な学位授与を行うよう、改善が望まれる。
	評価当時の状況	(1) 指導教授＝主査、副査は指導教授推薦の4名の候補者から2名を学長が指名→研究科教授会で承認 (2) 満期退学した者が退学後1年以内に申請する場合は、学位論文審査に合格すれば、退学の日に遡って課程修了の取り扱いを受けることができる。
	評価後の改善状況	(1) 指導教授が候補者5名を推薦し、この中から学長が主査1名、副査2名を選出→研究科教授会で承認 (2) 遡及制度の廃止。
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等	
	(1) : 大学院制度教育委員会議事要旨(抜粋): 資料1 5 (1)(2): 「学位申請基準等の変更に係る適用日について」: 資料1 6	
	<大学基準協会使用欄>	
	検討所見	
	改善状況に対する評価	1 2 3 4 5

提言に対する改善報告書

大学名称 兵庫医科大学 (評価申請年度 2010 年)

1. 助言について

No.	種 別	内 容
6	基準項目	4. 教育内容・方法・成果
	指摘事項	医学部における過去5年間の入学定員に対する入学者数比率の平均が1.01 と高いので、改善が望まれる。
	評価当時の状況	本学では、入学式直前（あるいは式当日）の入学辞退が度々発生することから、繰り上げ合格入学手続き状況の推移を見定めつつ、ある程度入学辞退者を見込んで定員を超過した合格手続きをとっている。入学辞退数が予想に反した場合は、定員超過が生じることになり、平成 21 年度までは、過去5年間の入学定員に対する入学者数比率平均は 101.16%であった。
	評価後の改善状況	入学式直前の入学辞退の発生状況は改善しておらず、平成 23 年度には式当日の入学辞退が生じ、結果として1名の定員割れとなった。 以降、定員割れを防ぐために、やはり入学辞退を見込んで定員超過した合格手続きをとっているが、予想は困難であり、平成 26 年度での過去5年間の入学定員に対する入学者数比率平均は 100.54%であり、「やや減少傾向」に留まっている。
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等 ・兵庫医科大学 入学状況一覧：資料 1 7	
	<大学基準協会使用欄>	
	検討所見	
改善状況に対する評価		1 2 3 4 5

提言に対する改善報告書

大学名称 兵庫医科大学 (評価申請年度 2010 年)

1. 助言について

No.	種 別	内 容
7	基準項目	4. 教育内容・方法・成果
	指摘事項	医学研究科では、大学院担当教員の選考に関する内規などが定められていないので改善が望まれる。
	評価当時の状況	大学院専任教員がいないことから内規等なし。
	評価後の改善状況	大学院学則に（教員組織）第9条を追加。 「本大学院の授業及び研究指導を担当する教員は、本学所属の教授、准教授、講師及び助教をもって充てるものとする。」
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等 「兵庫医科大学大学院学則の新旧対照表」：資料18	
	<大学基準協会使用欄>	
	検討所見	
	改善状況に対する評定	1 2 3 4 5

提言に対する改善報告書

大学名称 兵庫医科大学 (評価申請年度 2010 年)

1. 助言について

No.	種 別	内 容
8	基準項目	施設・設備
	指摘事項	施設・設備のバリアフリー化に向けた取り組みが不十分であるので、改善が望まれる。
	評価当時の状況	① 3号館1階講義室：車椅子用のスロープがない。 ② 1号館南側歩道：段差あり
	評価後の改善状況	① 3号館1階講義室：現在、新教育研究棟の設計中であり、29年度からはバリアフリー対策は万全となる。尚、2012年の学会時に、仮設のスロープを設置して対応した。 ② 1号館南側歩道：2011年に段差改善工事を完了し、車椅子の利用者の利便性は改善された。
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等 上記①②共、現状写真添付：資料19	
	<大学基準協会使用欄>	
	検討所見	
	改善状況に対する評価	1 2 3 4 5

提言に対する改善報告書

大学名称 兵庫医科大学 (評価申請年度 2010 年度)

1. 助言について

No.	種 別	内 容
9	基準項目	5. 財務
	指摘事項	具体的な中・長期財政計画、財政改善策が策定されていないので、中・長期財政計画を早急に策定し、帰属収支差額の改善、消費収支差額の均衡を図り、財政基盤の強化を推進することが必要である。
	評価当時の状況	新大学の開設は平成 18 年度から平成 20 年度の 3 年間の消費収支を圧迫し、帰属収支差額をマイナスとしたが、平成 21 年度には学費の増収等もあり若干ではあるが帰属収支差額は黒字化した。しかし、消費収支差額はマイナスが続き、収入増加策もさほど効果があらわれていない。
	評価後の改善状況	予算編成方針では帰属収支差額、設備投資額の数値目標を掲げ、目標達成に向け、予算積算に当たっては、財源確保・支出抑制を徹底し、財政基盤の充実に向け予算編成を厳格に行った。結果、平成 22 年度以降、消費収支差額の黒字を確保し、帰属収支差額においても大幅なプラスとなっている。
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等	
	・平成 22 年度～24 年度の推移 : 資料 2 0 ・平成 22 年度消費収支計算書 : 資料 2 1 ・平成 23 年度消費収支計算書 : 資料 2 2 ・平成 24 年度消費収支計算書 : 資料 2 3 ・平成 24 年度 計算書類 : 資料 2 4 ・平成 24 年度 監事監査報告書 : 資料 2 5 ・独立監査法人の監査報告書 : 資料 2 6	
	<大学基準協会使用欄>	
	検討所見	
	改善状況に対する評定	1 2 3 4 5

提言に対する改善報告書

大学名称 兵庫医科大学 (評価申請年度 2010 年)

2. 勧告について

No.	種 別	内 容
10	基準項目	4. 教育内容・方法・成果
	指摘事項	医学部において、収容定員に対する在籍学生数比率が1.07 と高いので、是正されたい。
	評価当時の状況	平成 21 年度時点の収容定員に対する在籍学生数比率は 106.89%であった。
	評価後の改善状況	留年者の減少の影響により、平成 26 年度時点の収容定員に対する在籍学生数比率は 103.98%であり、減少傾向にある。
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等 ・兵庫医科大学 在籍状況一覧：資料 2 7	
	<大学基準協会使用欄>	
	検討所見	
	改善状況に対する評価	1 2 3 4 5